

特別支援教育 特別支援教育

特別支援教育とは

今日、障害のある人もない人も同等に生活し、活動する社会を目指すノーマライゼーションの理念の実現に向けて様々な取組が進められています。教育の現場でも平成19年度から特別支援教育が本格的にスタートしました。この教育は、LD、ADHD、高機能自閉症等をはじめとして、学習面、情緒面、対人関係など学校生活で何らかの原因でいろいろな場面で困難さを感じている児童生徒に対して「個に応じた教育的支援」を行う新しいプログラムです。児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善、克服するため、適切な指導および必要な支援を行うものです。「特別支援教育」では、各学校においての創意・工夫が求められています。

本校の取組

人にはそれぞれに個性があり、興味、関心や能力に個人差があります。つまり、誰にでも得意なことや、苦手なことはあります。物事の覚え方や覚えるまでの時間も千差万別です。それぞれの得意なことを生かして、適した学習方法を見つけていくことが大切です。本校では、学習内容の習熟の程度に応じた指導の工夫、基礎学力の定着と充実を目指す少人数指導、教え合い、学び合いにより生徒相互の信頼関係に基づく人間関係の育成を図ることも目的とした全校で取り組む「協同学習」、夏・冬季休業中の「学集会」など個に応じた学習ができるような学習環境をつくっています。

また、障害のある人たちに対する正しい理解と認識を深めるための取組も行っています。福祉体験、社会人講話（障害者）などです。これらの取組を通じて深められた理解、認識は共に助け合い、支え合って生きていくことの大切さはもちろん、生活の基盤である人間尊重の精神につながるものと考えています。

通級指導教室(サポート教室)

今日的な教育的ニーズに応えるために、平成19年4月に開設しました。教室での学習や集団活動の中で「困難さ」を感じる生徒の指導・支援をする教室です。学習、集団活動の面での困難さの例では、

- *計算につまずきやすい
- *数学の文章問題が苦手
- *漢字、アルファベットを書くことが苦手
- *整理整頓が苦手
- *忘れ物が多い
- *集中して授業を受け続けることが難しい
- *人間関係がうまくいかない

などがあります。しかし、このような困難さに対して、「絵や図を使って、視覚的に説明する」「適宜声かけをして、集中力を持続させる」といったその生徒にあった手立てを用いることで、その困難さを和らげることができます。

サポート教室の指導・支援の大きなねらいは、在籍している学校・学級での学習や生活にスムーズに参加できる力をつけることです。

サポート教室での学習

- ・個別または小集団で行います。
- ・内容は学びにくさ、人との接しにくさの改善と克服を目的とする自立活動と教科の補充指導を行っています。
- ・通級できる時間は、本人、保護者と相談の上、決めます。

通級手続きについて

- ・学級担任または特別支援教育部主任までいつでもご連絡ください。
- ・大宮中学校に在籍する生徒の他、他校に在籍していても保護者が送り迎えが可能な生徒も通級することができます。手続き等の詳細につきましては、在籍校を通してご連絡ください。